

社保シリーズ

デジタルX線の電加算

7

社保研究部

社保シリーズでは、昨年12月6日に厚労省出保険局医療課が発出した疑義解釈(その7)を順次紹介する。今回は、下記のQ & Aを取り上げる。

問：電子画像管理加算については、一連の撮影につき算定する取扱いとなっているが、歯髄炎を診断するために歯科用エックス線撮影を行い、その後、根管充填等異なる状態の画像診断を行うために歯科エックス線撮影を行った場合における算定方法については、各々の歯科エックス線撮影について、電子画像管理加算を算定して差し支えないか。

答：差し支えない。

症例解説

上記の疑義解釈が出るまで、レセコンによっては、同日に撮影した確認のデジタルX線写真には、電子画像管理加算が算定できないように、チェックがかけられていた。疑義解釈では、処置などによって状態が変われば、一連の撮影にはならず、同日の2枚目以降でも電子画像管理加算が算定できることが明確になった。

症例では、2月1日に、 $\overline{4}$ のPerを診断するためにデジタルX線を撮影し、58点を算定した後、同日に根充後の確認のデジタルX線・48点を算定している。内訳は、診断料20点+撮影料28点+電10点になる。2月4日の $\overline{6}$ のPul症状の診断と抜髄の根尖部到達を確認するデジタルX線撮影も同様である。

さて、初日の $\overline{4}$ のように2つ以上の補綴物を除去した場合、主たる点数をひとつだけ算定するので、FCKの除去・30点ではなく、ポストコアの除去・50点で算定する。この際、FCKとポストコアを別の日に分けて除去しても、一連とみなされどちらか一方のみの算定となる。

症例では、 $\overline{4}$ の根管側壁に穿孔があるため、感染根管処置に際して、封鎖するための充填をしている。このとき、KPは単純に限られる。また、KPは「形成」ではなく根管処置の一環として評価されるため、支台築造後の形成である失PZは、KPとは別に算定することができる。ちなみに、歯肉剥離を伴う封鎖の場合は、歯槽骨整形手術の準用で110点が算定できる。

さて、21日に $\overline{4}$ の違和感を訴えて来院し、充填剤除去によって副根が認められたので、根管貼薬処置の後に再度根管充填している。充填の算定単位は「1歯につき」なので再充填の費用は算定できないが、根貼の費用が算定できる。

2つ以上を除去した場合、点数が高いポストコアの除去・50点の方で算定する。病名は、「ポストコアハソン」など。

根充後の状態を確認するためのデジタルX線撮影は電子画像管理加算10点が算定できるため、診断料20/2+撮影料28+(電)10=48点を算定する。

感染根管処置に際して穿孔部を封鎖した場合、KP(単純なもの)+充填の単純なもの+充填材料料が算定できる。

歯内療法は3根までしか区分がないが、EMRは4根管・75点が算定できる。

根充材の除去時に根貼が算定できるが、再度の根充の費用は算定できない。

部位	傷病名	診療開始日
$\overline{4}$	Per, 穿孔	平成23年2月1日
$\overline{4}$	ポストコアハソン	平成23年2月1日
$\overline{6}$	Pul	平成23年2月4日
〔年齢〕21歳女性		
〔主訴〕下顎の臼歯部が腫れてズキズキ痛む。		
〔所見〕根尖部異状、側壁の穿孔を認める		

月日	部位	療法・処置	点数
2/1		初診	218
	$\overline{4}$	X-Ray(D)1F電	58
		根尖部異状、側壁の穿孔を認める	/
		FCK, ポストコア除去	50
		感染根管処置	130
		EMR (1根管18mm, #35)	30
		X-Ray(D)1F電	48
		根管長確認	/
		KP単純	54
		光CR充填(単純) (100+11)	111
		根貼(FG), 仮封(EZ)	/
2/4		再診	42
	$\overline{6}$	X-Ray(D)1F電	58
		深部にカリエスを認む	/
		浸麻(OA+歯科用キシロカインCt1.8ml)	/
		インレー除去	15
		抜髄	570
		EMR (PD18mm, PM18.5mm, BD19mm, BM19.5mm)	75
		X-Ray(D)1F電	48
		根尖までの到達を確認	/
		RCP #35, 根貼(FG), 仮封(EZ)	/
	$\overline{4}$	根貼(FG), 仮封(EZ)	20
2/8		再診	42
	$\overline{4}$	根充CRF(CAN+G.ポイント) (68+118)	186
		X-Ray(D)1F電	48
		緊密な根充を確認	/
2/14		再診	42
	$\overline{6}$	根充CRF(CAN+G.ポイント) (110+164)	274
		X-Ray(D)1F電	48
		緊密な根充を確認	/
		メタルコアimp	20
2/21		再診	42
		$\overline{4}$ の違和感、充填剤除去により副根を認む。	/
	$\overline{4}$	副根部除去, 根貼(FG)	20
		根充CRF(CAN+G.ポイント)	/
2/25		再診	42
	$\overline{4}$	根充	/
		X-Ray(D)1F電	48
		加圧根充良好を確認	/
2/28		再診	42
	$\overline{4}$	レジンコア築造	147
2月分 7日分 2,528点			